

最後に、ここ二〇年近く日記を含む古記録類刊行が停滞するなか、氏が多大の労力と時間を投入して、本書を刊行されたことに敬意を表したい。

(A5判 五二五頁 索引二七頁 一九九二年一〇月 文献出版 一五〇〇〇円)

(藤井徳治 京都大学助教授)

日本学術会議だより

— No. 28 —

平成五年三月 日本学術会議広報委員会

日本学術会議の第一五期活動計画の大きな柱である「学術研究の国際貢献の重視」の具体的方策の一環として、「アジア学術会議(仮称)」の開催が、平成五年度予算によって実現することとなりました。その内容は、学術研究が環境問題等の諸課題を克服し、人類の繁栄と世界の平和に寄与するとの認識に立って、本年秋に東京で、我が国と地理的・文化的に関係の深いアジア各国を代表する学術研究者が一堂に会して、各国における学術研究の現状、アジア地域における連携・協力のあり方などに関し意見を交換する場として開催するものです。我が国を含め一〇か国程度のアジア諸国から、代表者を招へいする予定です。

会 告

去る五月二十七日に開催された史学研究会理事・評議員会におきまして、左記の事項が可決、承認されました。

記

- 一、平成四年度 決算報告
- 一、平成五年度 予算案
- 一、役員交替
- (1) 常務理事間野英二、金田章裕、理事河内良弘、竺沙雅章、藤縄謙三、松尾尊允、評議員石井進、市原寿文、佐原真、中村幹雄氏の退任。
- (2) 理事に紀平英作氏(評議員より)、評議員に伊藤玄三、河原純之、五味文彦、鈴木利章、富谷至、南川高志氏を選任。
- (3) 常務理事に永田英正(理事より)、服部良久(評議員より)氏を選任。
- (4) 旧常務理事間野英二氏は理事に、金田章裕氏は評議員に復帰。

編集後期

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。七六巻四号をお届けします。国内政治は長期政権与党の時代が終焉し、政治改革の一步が踏み出されようとしています。一方、相次ぐ自然災害は何かを暗示するかのようになり、国内外の各地に大きな被害を与えました。こうした非常時とも思える事態を私たちはいかに乗り越えていくべきか、今こそ過去の歴史から多くを学び取ることが求められているのではないのでしょうか。(た)

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

一九九三年六月二五日印刷 定価二〇〇円
一九九三年七月一日発行 送料五二円

史 林 第七六巻第四号(通巻第三八〇号)

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行人 史 学 研 究 会

理事長 朝 尾 直 弘
振替京都七一一五五番

印刷所

京都市下京区七条御所ノ内中町五〇
中村印刷株式会社